

FUJIYAMA2021



今年度も後期に入り、10月には新型コロナウイルス感染症の新規感染者も大幅に減り、多少の安堵感を感じながら園児の支援に当たらせて頂いております。報道等で3回目のワクチン接種が決定されましたが、学園では、対象年齢児・職員ともほぼ全員の2回接種が済みました。10月以降の学園状況として、面会・外出・外泊の規制緩和、分校生のバス通学を再開しております。また、新規感染が家庭内感染より拡大された影響から、受付簿による来園者（保護者、関係者等）のワクチン接種確認と外泊からの帰省時の行動記録及び、同居家族等のワクチン接種確認を追加実施しております。

今後引き続き、感染症予防を徹底してまいりますので、御理解・御協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、去年のふじやまだよりでは、個別支援計画とマンネリについて書かせて頂きました。結果、書式を変更したことにより、経過報告の簡素化、事務量軽減に繋がりました。

今年度の卒園予定園児は7名おり、後期の支援計画は卒園後の生活を見越した内容で作成しています。一例として、グループホームから就労を目指す園児の支援計画は下記のとおりです。

《主任 後藤正一》

年間目標	・自立活動を増やす。
短期目標	・自分で昼食の用意ができる。（6ヶ月）
目標の分析	・卒業後はグループホームを生活拠点に企業就労を目指している。 ・昼食は自分で用意しなければならない。 ・コンビニ等で昼食を準備することは問題ない。簡単な調理やお弁当作りもできるが、こだわりが強く時間をかけてしまい他の活動に影響することがある。
具体的展開	①休日の昼食を自分で用意する。 ・コンビニ等で購入する。（自立徒歩） ・自分で調理する。最初はレトルト食品など簡単な調理から始める。 ②登校時、職場実習時の昼食を自分で用意する。（週1回～） ・コンビニ等で購入する。（自立徒歩） ・朝にお弁当作りをする。（休日に登校時に合わせたお弁当作りの練習をする） ・職場実習では、通勤時や前日にコンビニ等で購入する。慣れてきたら自分でお弁当を作る。

〇〇さんの支援計画

子ども達にインタビュー

本来、毎年この時期には園児旅行の記事を掲載していたのですが、8月からの新型コロナウイルス感染者拡大に伴い、9月に予定されていた園児旅行は…残念ですが中止になりました。そのため、今回は初の試みとして、ふじやまの子どもたちに各寮ごとテーマを決めてインタビューしたものを、最近の寮の様子と共に紹介していきたいと思います。

ふじ寮



みんなが好きなキャラクター、テレビ番組は何？



全集中！○の呼吸



好きなキャラクターで、圧倒的に多かったのは、仮面ライダーやウルトラマンといった戦隊ものでした。また、鬼滅の刃は学園でも人気で、キャラになりきって遊んだり、廊下には鬼滅キャラの塗り絵が沢山貼ってあります。

好きなテレビ番組は、昨年度からふじ寮でブームが続いている『逃走中』や『戦闘中』という答えがあり、新しい回が放送されると大喜びで観ています。他にも、動物系の番組やコナン・ドラえもん等のアニメ、ドリフの番組などという回答がありました。

つつじ寮

最近、ハマっていることと好きな芸能人を教えて。



ハマっているのは、『絵を描くこと』や『大好きな人形と遊ぶこと』『オシャレ』『パズル』などの、女の子らしい回答が沢山。ボランティアさんからダンスを教わっていることもあり、つつじ寮の中でダンスもブーム♪最近の流行の曲に合わせて、日々ダンスを練習中。夏休みには、職員や他の寮のみんなにも披露してくれました。

好きな芸能人で、圧倒的に多かったのは、『嵐』や『Hey!Say!JUMP』などのジャニーズメンバー、イケメン俳優。あとは、韓国アイドルグループなど、こちらも乙女な回答が多く聞かれました。



子ども達にインタビュー②

かえで寮

好きなごはんのメニューと好きなゲームについて聞かせて



寄付していただいた Switch は子ども達から大人気♩



ごはんのすすむ麻婆豆腐☺

食べ盛りの子が多いかえで寮。ハンバーガー、ラーメン、カレー、どんぶり系といったガッツリとしたメニューが大人気。学園のごはんもおいしいため、みんな毎日お替わりしています。

かえで寮では、Switch や 3DS でのゲームが流行中。『スマッシュブラザーズ』や『モンスターハンター』『ポケモン』『マリオ』といった定番ゲームから、『バイオハザード』などのホラーなゲームまで、自分たちで購入し、ルールを決めて楽しく遊んでいます。



新しいボランティアさんの紹介



昨年度、ふじやま学園に御協力いただいているボランティアさんの紹介をさせていただきました。今年度も新たにボランティアとして御支援してくださる方が増えたので、ご紹介させていただきたいと思います。

●FCS(フジクラウドサプライ)さん●

富士市内で活動する生活支援ボランティアさんのグループで、6月より子ども達の傾聴ボランティアを行ってくれています。子どもと1対1で関わる時間を作り、その子の心に寄り添って話を聴いてもらう活動をしていています。普段、集団生活の中で暮らす子ども達にとって、大人との“自分だけの時間”が持てるというのはすごく貴重な体験であり、子ども達も毎回楽しみにしています。

●散髪ボランティア 諏訪部さん●

普段は、美容院に勤務されている美容師さん。新型コロナウイルス感染症もあり、なかなか外出が厳しい中、学園に来てくれて、子ども達の散髪もしてくれています。女の子たちは、ヘアアレンジを覚えてもらったり、可愛い髪型にしてもらい毎回喜んでいきます。

ふじやまの感染症対策



今回、学園で新型コロナウイルスの感染者が出た場合を想定して、職員が実際に防護服を着て、感染を想定した子どもに食事を提供、下膳の場面のデモンストレーションをしました。

静養する部屋の前に、イエローゾーンとレッドゾーンの区分けをして、ゴミ箱を設置、防護服、手袋、足カバー、フェイスシールド、マスクに着替える場所と消毒ゾーンを作りました。使い捨て食器や使い捨てのお箸を利用し、お盆にのせて・・・いざ部屋の中へ！

手順を確認しながら行くと、下膳の作業時間が普段の3倍ほどかかりました。動線は物の位置をひとつ間違えると体をねじってゴミ箱に入れる事態になってしまうことや、レッドゾーンを超えてしまう事態が発生し、細かな配慮が必要でした。そして何より防護服、マスク、フェイスシールドを着ていると暑かったです。

感染症は急に発生するものですが、準備するものがたくさんです。事前に必要物品を確認して備えておきたいですね！デモンストレーションをやってみると、新しい発見がありましたよ。

着替えるのが
なかなか大変！



ふじやまの食事の対応

ふじやま学園の園児については、食事の際に密を避けるため、食堂に集まるのではなく、食堂と寮の居間で空間を分け、人数も分かれて食べるようにしています。また、在宅支援についても、パーティションや空間を活用して一定の距離を保ち食事をとっています。

現在、感染が落ち着いてきていることもあり、感染対策の見直しも必要であると感じています。以前のように、楽しくみんなで食事できる日が1日でも早くくることを願っています。



編集後記

ふじやまだよりは、毎回完成すると寮ごとに壁に貼ってもらっていて、学園の子ども達も目を通してきています。そこで、職員だけではなく、学園全体でのふじやまだよりの作成を目指していきたいと考え、今回初の試みでありましたが、子ども達にインタビューしてみました。思いの他沢山の回答をもらえ、子ども達のことにより一層知ることのできるいい機会にもなりました。今後は、寮の中でふじやまだよりのお手伝いをしてくれる子や一緒に記事を考えてくれる子なども募集して新たな発信ができたらと考えています。

ふじやま学園 在宅支援 ふじやまだより担当